

桜梅桃李 ~みんなちがってみんないい~

発行日：2022年 9月 16日（金）

体育大会予行を終えて

水曜日に体育大会の予行がありました。コロナの関係で入場行進はここ3年はシンプルな入場となっています。生徒席から前に行進するというだけの入場です。熱中症の心配もあるため、いまのやり方で、これはこれでいいかなと思う一方で、コロナ前の東中での体育大会、先生が東中に転勤してきた年に目の当たりにしたかつての入場行進、3年生が力強く「1・2・1・2」と声を出しながら行進するのは本当に生徒のやる気がひしひしと伝わってきて、感動した記憶があります。これから東中を担っていくみんなにはそういう熱い思いのもと東中の伝統が、学校行事が作られてきたことを知っておいてほしいと思います。

次に予行の感想。正直「もっとできるやろ？」と感じました。翌日の学年練習で宇崎先生も言っていました。最初の学年練習の時の行進のほうが良かったです。（昨日の練習ではかなり良くなっていましたが）いままでの通信でもいいましたが体育大会は競技を頑張るだけでは成功も感動ありません。得点になる競技以外の取り組みをいかに頑張るかが大切になってきます。まだまだ本気になっていない人や動きの鈍い人がいます。競技もそれ以外のことも一生懸命にすることが大切です。本気（マジ）になっている姿に人の心が揺れ動かされます。あなたたちはこの2学期の生徒会選挙以降は学校を背負って立つ中心学年となります。頑張る人だけが頑張っても全体としての成功はありません。クラスや学年や学校が一丸となることが大切です。そのためには1人ひとりの努力と意識、行動が必要です。もちろん本気でがんばろうとしている人たちも多くいます。膝もしっかり上げて中指もピンとのび、堂々と胸を張ってとりくんでいます。体育大会を絶対に成功させたいと思う気持ちが表情にあらわれています。高めあえる集団になるためには「指示があってから動く」のか、「指示がなくても自分たちで考えて動く」のか、ということも行事の成功や集団の成長に関わってきます。

また自分のことだけしか考えられず、人の気持ちをわかろうとせず自己中心的になっていては絶対に目的は達成できません。学校のような集団生活では、さまざまな考え方に触れたり、人によって関心を持つことや好みが変わったり、ときには意見が食い違うことも体験しますよね。だからこそその過程において自分以外の人と少なからず摩擦が生じます。これは当たり前のことであってダメなことではありません。それをうまく乗り越えることではじめてお互いに理解し認

め合える、それぞれの良さを生かした人間関係を作り上げていけます。時にはぐっとこらえる、歯を食いしばるような我慢も必要です。自分自身の心を向き合いながらいっしょにがんばっていきましょう！でも自分の力ではどうしてもない時は担任の先生に、学年の先生に相談してください。きっと支えになってくれるはずです。悩み多き中学2年生。まだまだ中途半端な人、がんばれ！リーダーたち、これで精一杯か？みんなを巻き込む台風の目になってください。

3年生の生徒会役員たちの話。体育大会に向けて暑い中、自分の進路に向けても忙しい中、夏休み前から準備や計画を立て、みんなの体育大会のために『一緒に懸命』に取り組んでくれています。先生は今年も招集の係をしていましたが本当にテキパキと責任感を持って自分から仕事をしてくれる委員長なので本当に頼りになりました。こういう先輩の姿、見習って42回生からもこういったリーダーが成長してほしいなと思いました。

最後に学年種目。どのクラスも日に日に上手になっていくのが観ていてわかりました。ちなみに1位との差は約1分00秒です。勝つためのヒントはコーンの回転、竹のジャンプ、あとは雰囲気作りだと思います。マイナス発言は絶対にNGですよ。順位もコロコロと変動していますのでどのクラスも頑張ってください。「あきらめたらそこで試合終了」ですから・・・そして最後は、、、やりきったんやったら何位でもええやん、笑顔で終わろう！楽しもう！明日が楽しみです。



努力は宝や！！ 自学ノート がんばりました！

11・12冊目 3組 ○○○○